

児童生徒調査【対象：小学5年生・中学2年生】

1. 学校での勉強や生活について

質問1 あなたは、教科の学習が好きですか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① とても好き	16.1%	5.6%
② 好き	57.4%	45.5%
③ あまり好きではない	23.0%	36.4%
④ 好きではない	3.5%	12.6%

【考察】

- 教科学習については、概ね7割以上の児童が①、②と回答しており、学習への関心度は高いものと捉えられるが、学習への興味・関心が持てない児童も約3割弱を占めていることから、個別支援を通して学びへの意欲を培う指導を充実していく必要がある。
- 中学校段階で、小学生と比べ①、②の割合がいずれも低くなり、③、④の割合が高くなっていることについて、教科の難しさであるとしたならば、指導法の工夫・改善によって、生徒の意欲喚起を高めていく必要がある。

質問2 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① よくわかる	36.8%	21.7%
② だいたいわかる	56.8%	64.1%
③ あまりわからない	5.8%	12.6%
④ わからない	0.6%	1.6%

【考察】

- 授業の理解度については、概ね9割以上の児童が①、②と回答しており望ましい数値になっている。
- 中学校段階においても、約8.5割が①、②の数値であり、小学校段階より低くなっている点については、学習の内容が難しくなることから、想定されることであるが、③が約1割を超えていることについては、個々の生徒の理解度に基づいて具体的な支援策が必要である。

質問3 あなたが学校や学級で困っていることや不安に思っていることはどんなことですか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 勉強のこと	16.1%	28.7%
② 友達のこと	13.2%	7.0%
③ 先生のこと	2.9%	2.3%
④ 家族のこと	2.1%	1.2%
⑤ 特になし	63.2%	55.5%
⑥ その他	2.6%	5.4%

・マスクがずれている子がいる。 ・学習予定のミシンが不安 ・挨拶の声が小さい
 ・6年生の水泳大会が不安 ・先生と家のこと

【考察】

- 約6割が⑤と回答しており、概ね学校生活を楽しく過ごしているものと捉えられるが、高学年段階では学習や友達に関する課題も生じることから、日常の取組の中で個々の子供たちへの具体的な支援が求められる。
- 中学校においても、⑤の割合が約5割を超えており、学校生活について比較的円滑に過ごしているものと捉えられる。また、②が1割にも満たない数値であり、この期の生徒指導上の課題ともなる友達関係もうまくいっているようである。①の割合が高くなることは、ある程度必然的とも捉えられる。

質問4 あなたが、困っていることや悩みなどを相談する相手はどなたですか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 母 親	67.5%	54.5%
② 父 親	21.2%	14.9%
③ 祖 父 母	2.9%	0.2%
④ 兄 弟 姉 妹	6.3%	6.3%
⑤ 友 達	33.3%	47.8%
⑥ 先 生	12.5%	6.8%
⑦ 自分で解決する	23.0%	37.8%
⑧ 相談相手がいない	6.1%	4.9%
⑨ その他	3.1%	2.1%
(小)・悩み、相談事が特にない(複数) ・両親 ・母親、相談員の先生 ・自分で頑張る (中) 特になし		

【考察】

- 小学校段階では、約7割弱の児童が比較的身近な母親に相談する傾向にあるが、⑥への相談が約1割程度と低い数値が気になる。もっと気軽に相談できる環境づくりが求められる。
- 中学生段階では、①の割合が減少して⑤が高くなっている点については、想定される数値でもあるが、⑥が1割にも満たない数値であり、進路等を含めて様々な悩みを抱えるようになる生徒の相談相手として、もっと気軽に相談できる体制づくりが求められる。

質問5 あなたは、放課後をどのように過ごしていますか。

<小学生>

選 択 肢	小学5年生 回 答
① 家でテレビを見たりゲーム等(インターネットやSNSを含む)をしたりしている	74.0%
② 家でテレビやゲーム等以外のことをしている	17.7%
③ 家の外でゲーム等をしている	9.5%
④ 家の外でゲーム等以外のことをしている	24.9%
⑤ 学習塾に行ったり習い事をしている	54.3%
⑥ スポーツクラブなどに行っている	19.0%
⑦ 家で勉強や読書をしている	43.6%
⑧ 家の手伝いをしている	24.4%
⑨ 放課後子供教室やわこうっこ、学童などに行っている(小学5年)	2.9%
⑩ その他	8.0%
・学習や宿題等、家庭学習(複数) ・塾、習い事(複数) ・友達と遊ぶ(複数) ・リラックスしている	

<中学生>

選 択 肢	中学2年生 回 答
① 家でテレビを見たりゲーム等(インターネットやSNSを含む)をしたりしている	88.6%
② 家でテレビやゲーム等以外のことをしている	20.7%
③ 家の外でゲーム等をしている	5.6%
④ 家の外でゲーム等以外のことをしている	11.0%
⑤ 学習塾に行ったり習い事をしている	57.8%
⑥ スポーツクラブなどに行っている	13.8%
⑦ 家で勉強や読書をしている	47.6%
⑧ 家の手伝いをしている	23.3%
⑨ 図書館や公民館、児童館等に行っている	2.1%
⑩ その他	7.7%
・部活(4) ・放課後等デイサービス ・趣味 ・稽古 ・トレーニング ・寝る	

【考察】

- 放課後の過ごし方として、①が7割を示しており、決して好ましいものではないことから、家庭学習の定着を図ることで、もう少し有意義な時間活用ができるようにしていく必要がある。また、⑤の約5割の数値はほぼ想定される数値であり、高学年段階での通塾率の高さが表れている。
- それぞれの選択肢の数値に、小・中学生の大きな変化は見られないが、①の割合がかなり高くなっている点は、家庭との連携による具体的な対応策を考えていく必要がある。

質問6 あなたが、教わりたいと思う先生はどのような先生ですか。

<小学校>

選 択 肢	小学5年生 回 答
① 勉強をよく教えてくれる先生	16.4%
② いろいろなことを知っている先生	22.5%
③ いけないことをしっかり注意してくれる先生	10.8%
④ 話をよく聞いてくれる先生	20.6%
⑤ いっしょに遊んでくれる先生	16.2%
⑥ えこひいきをしない先生	8.0%
⑦ その他	5.5%
・面白くてけじめのある先生 ・やさしい先生 ・話をよく聞いて遊んでくれる先生 ・面白い先生 ・上手なボケができる先生 ・特にない	

<中学校>

選 択 肢	中学2年生 回 答
① 教えるのが上手な先生	29.8%
② 専門的な知識を持っている先生	2.8%
③ 厳しさとやさしさのある先生	4.7%
④ 教育に情熱のある先生	2.3%
⑤ 話が分かりやすい先生	11.9%
⑥ えこひいきをしない先生	7.7%
⑦ 信頼感の持てる先生	8.9%
⑧ 気軽に相談できる先生	12.6%
⑨ 人間的に魅力のある先生	5.6%
⑩ 人生の師となるような先生	2.6%
⑪ 生徒のため一緒に考えてくれる先生	8.9%
⑫ その他	2.3%
・中学生のことが分かる先生 ・きちんと生徒と向き合ってくれる先生	

【考察】

- 児童が求める教師像として、①～⑤は想定されるものであるが、⑥の数値が1割弱であることは、むしろ自分たちの周りの先生に対する信頼度の表れとも捉えられる。
- 生徒の願いとしては、①、⑤、⑧など資質を備えた先生を選択することは当然のことであり、②、④、⑩などの数値の低さは、すでに先生方が備えている資質であるとすれば好ましい結果である。

質問7 あなたが、学校生活の中で満足していることはどんなことですか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 友達との関係	57.6%	57.6%
② 先生との関係	3.9%	1.4%
③ 授業の内容	5.8%	2.6%
④ 学校の行事	5.0%	3.5%
⑤ クラブ・部活動	10.1%	17.0%
⑥ 学校給食	11.7%	14.9%
⑦ 学校の伝統	0.6%	0.0%
⑧ 学校の施設・設備	2.3%	0.9%
⑩ その他	3.1%	2.1%
(小)・委員会(複数) ・学級活動 ・全部(複数) ・思いつかない (中)・学校の伝統や施設、設備以外は全部		

【考察】

- 児童が満足することとして、①は約6割近い数値であり、この点からも居心地の良い学級環境づくりに視点を置いた取組の充実が求められる。
- 中学校段階においても、①は同様の数値を示しており、友達と関わるのが小・中学校において、いかに大切であるかが捉えられる。一方、③の数値は小学校段階においても決して高いものではないが、さらに半数ほどに減少していることについては、「分かる授業」に視点を置いて授業改善が求められる。

2. あなたのふだんの生活について

質問8 あなたは、学校が休みに日はどのように過ごしていますか。

<小学生>

選 択 肢	小学5年生 回 答
① 家でテレビを見たりゲーム等(インターネットやSNSを含む)をしったりしている	77.0%
② 家でテレビやゲーム等以外のことをしている	15.1%
③ 家の外でゲーム等をしている	7.1%
④ 家の外でゲーム等以外のことをしている	16.7%
⑤ 学習塾に行ったり習い事をしてしている	28.8%
⑥ スポーツクラブなどに行っている	19.8%
⑦ 家で勉強や読書をしている	35.0%
⑧ 家の手伝いをしている	23.3%
⑨ 家族と一緒に出かけている	49.7%
⑩ 図書館や児童館等に行っている	2.9%
⑪ その他	6.9%
・勉強(複数) ・スポーツ(複数) ・寝ている、ゴロゴロ(複数) ・家族とお出かけ	

<中学生>

選 択 肢	中学2年生 回 答
① 家でテレビを見たりゲーム等(インターネットやSNSを含む)をしったりしている	84.1%
② 家でテレビやゲーム等以外のことをしている	14.7%
③ 家の外でゲーム等をしている	3.3%
④ 家の外でゲーム等以外のことをしている	7.2%
⑤ 部活動をしている	49.4%
⑥ 学習塾に行ったり習い事をしてしている	26.6%
⑦ スポーツクラブなどに行っている	10.3%
⑧ 家で勉強や読書をしている	34.5%
⑨ 家の手伝いをしている	12.1%
⑩ 家族と一緒に出かけている	19.8%
⑪ 友達と一緒に出かけている	21.4%
⑫ 図書館や児童館等に行っている	1.2%
⑬ その他	2.1%
・趣味 ・稽古 ・ピアノ	

【考察】

- 質問5とほぼ同様の回答であり、放課後も休日も大きな変化の無い生活を送っていることや、⑨の割合が約5割と高い数値を示している点は家族関係の良さと捉えられる。
- 小学校段階と比べ、①が8割を超える数値となっており、家庭での過ごし方について保護者との連携を深めながら、目的意識をもった生活ができるよう改善を図っていく必要がある。

質問9 あなたは、どのくらい読書をしていますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① ほとんど毎日読んでいる	21.7%	32.6%
② 週に3日以上は読んでいる	19.5%	18.4%
③ 週に1日以上は読んでいる	18.6%	13.8%
④ 月に1~2日くらい読んでいる	13.0%	7.7%
⑤ ほとんど読んでいない	18.0%	18.9%
⑥ 読んでいない	9.2%	8.6%

【考察】

- ①が約2割を超えている一方で、約2割弱の児童が⑤、⑥と回答しており、読書に対する興味・関心の乖離が見られる。
- 中学校段階では、①が約3割を示しているが、全体的に読書離れの傾向とも捉えられる。特に⑤、⑥が小学校と同様に約2割近い数値になっている点は、やはり小学校段階で読書の楽しさを味わわせる取組みの不足とも考えられる。読書から得られる知識や情報等を適切に活用できる取組の充実が求められる。

質問10 あなたは、どこで本を借りることが多いですか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 学校図書館	51.4%	25.6%
② 和光市図書館	20.9%	31.5%
③ 和光市図書館下新倉分館	6.9%	3.0%
④ 公民館の図書コーナー	0.3%	0.7%
⑤ 市外の図書館	6.9%	12.1%
⑥ その他	13.5%	27.0%

(小)・電子書籍(複数) ・購入(複数) ・自宅の本(複数) ・借りない(複数) ・父から借りる
・成増図書館
(中) 購入(4) ・友達 ・朝霞 ・光が丘(2) ・借りない(24) ・自分の蔵書

【考察】

- 小学生では、約5割以上が①を利用しており、本市図書館の取組である団体本貸出の利用を含めての数値と捉えられる。電子図書の利用なども見られ、今後の図書館の利用形態が変化してくるものと予測される。
- 中学生の市内図書館の利用が、小学生の約半数になっていることについては、図書館に通う時間の確保の難しさが考えられる。中学生のニーズに即した蔵書配置を考慮しながら、団体本の貸し出しの充実を図っていく必要がある。

質問11(小学生)、質問12(中学生) あなたは、いつもどんな生活をしていますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 決まった時刻で起きるようにしている	35.7%	49.4%
② 決まった時刻に寝るようにしている	21.1%	18.4%
③ 毎日、朝ご飯を食べている	76.0%	82.5%
④ 夕ご飯は家族と一緒に食べている	56.3%	47.1%
⑤ 家の手伝いをしている	23.3%	19.6%
⑥ 何となく時間を過ごすことが多い	23.0%	28.2%
⑦ 自分でできることは自分でしている	22.3%	20.7%
⑧ テレビやゲームの時間を決めている	23.5%	12.1%
⑨ 決められたことが守れていない	8.8%	8.4%
⑩ その他	1.9%	0.5%

(小)・勉強 ・自学、絵を描くなど ・犬と遊ぶ (中) 家族の夕ご飯をつくる

【考察】

- 生活リズムの構築の面から、②が約2割と低い数値となっている点が気になる、学習塾通いなどが影響しているものと捉えられる。また、③が約7割を超えているが、発育段階にある高学年が「朝ご飯をしっかりと食べる習慣を確立する」ことは重要な課題である。
- ③については、中学校段階の方が高い数値となっており、本市における家庭の取組として、たいへん望ましい傾向にあると捉えられる。あとの項目については、小・中学校で大きな差は見られないが、⑧について約1割の数値が気になるところである。

質問11(中学生) あなたは、家で普段どのくらい勉強しますか。

選 択 肢	中学2年生 回 答
① およそ30分	20.5%
② およそ1時間	31.2%
③ およそ1時間30分	16.6%
④ およそ2時間	10.5%
⑤ およそ2時間30分くらい	4.4%
⑥ およそ3時間	3.0%
⑦ 3時間以上	2.1%
⑧ ほとんどしない	11.7%

【考察】

- 家庭学習の時間として、②が約3割の数値であるが、②～④が約6割を占めており中学生の普段の生活の中では、ほぼ妥当な数値と捉えられる。一方、⑧が約1割程度の数値となっていることについては、家庭学習のやり方を含め積み重ねていくことの大切さを理解させていく必要がある。

3. 和光市や地域についての思いや考えについて

質問12（小学生）、質問13（中学生） あなたは、市内や地域で行われる行事にどのくらい参加しますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① いつも参加している	6. 6%	2. 8%
② 時々参加している	53. 9%	39. 4%
③ ほとんど参加しない	36. 8%	56. 4%
④ その他	2. 7%	1. 4%
・転入したばかりだから参加したことがない（複数） ・参加しない		

【考察】

- 地域行事等について、約3割を超える児童が③と回答しており、地域コミュニティを円滑に形成していくためにも、参加したくなる行事等の充実を図っていく必要がある。
- 地域で行われる行事そのものが、②の数値が低くなっていることから中学生にとって魅力のあるものかどうか問われていると捉えられる。中学生が主体的に参加できるような取組であれば、おそらくもっと高い数値が期待できるものと思われる。

質問13（小学生）、質問14（中学生） あなたは、地域の大人の人たちに対してどのように思っていますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① 自分たちの安全を見守ってくれている	42. 8%	35. 7%
② いつも声掛けをしてくれる	18. 8%	16. 3%
③ 地域のために働いてくれている	15. 1%	14. 7%
④ いろいろなことを教えてくれる	3. 1%	1. 4%
⑤ あまり挨拶などをかわさない	5. 6%	4. 0%
⑥ あまり結びつきがない	12. 4%	26. 1%
⑦ その他	2. 3%	1. 9%

(小) ・守ってくれる ・声掛けしてくれる ・地域のために働いてくれる ・いろいろと考えてくれる
 ・少し怖い ・挨拶しても返してくれない ・わからない

(中) ・関わらないでほしい ・挨拶を交わす程度

【考察】

- 小学生では、約4割以上が①と回答しており、登下校時における地域の方々の関わりを好意的に捉えている。
- それぞれの選択肢に対して、小・中学校間でさほど変化のない数値になっているが、⑥が約半数以上高くなっていることから、地域との関わりが希薄さが捉えられる。コミュニティ・スクールの円滑な推進により、結びつきを強化していく必要がある。

質問14（小学生）、質問15（中学生） あなたは、将来も和光市に住み続けたいと思いますか。

選 択 肢	小学5年生 回 答	中学2年生 回 答
① このままずっと住み続けたい	13. 8%	6. 3%
② できれば住み続けたい	22. 5%	15. 9%
③ 一度は出てから、また戻って住みたい	15. 9%	12. 4%
④ どちらとも言えない	28. 1%	47. 6%
⑤ できれば他のところに移りたい	17. 0%	16. 3%
⑥ その他	2. 6%	1. 6%
・他のところに住んで、また戻りたい ・転勤族のため ・祖父母のいるところの県に住みたい		

【考察】

- 小学生では、①②を合わせて約3割を超える児童が「住み続けたい」と回答しており、児童にとっても本市に居住することの良さが理解されているものと捉えられる。
- ①、②、③の数値が小学校段階よりも低くなっていることについて、④が約5割を占めていることと相まって中学生段階の成長の証として捉えることもできると思われる。

4. 自分の将来の夢や仕事について

質問15 (小学生) あなたは、大人になったらやりたいと思っていることや、お仕事はどのようなことですか。

分 類	小学5年生 回 答
スポーツ関係 (野球、サッカー、バスケットボール等)	13.7%
アーティスト・●●家	9.3%
ゲーム・ネット (YouTuber) ・PC 関係	8.1%
芸能関係 (歌手、モデル、ダンサー、声優等)	8.0%
動物関係 (獣医、飼育員など)	6.3%
医療・福祉 (医者・看護師)	5.3%
飲食関係 (パティシエ等)	4.4%
会社員	4.4%
教師 (学校・幼稚園)、保育士、指導者等	4.1%
乗り物関係 (自動車関係、運転士、パイロット、CA 等)	3.7%
科学者・研究者	3.4%
美容関係 (美容師、ネイリスト)	3.1%
公務員 (警察官、自衛官等) ※教員は除く	3.1%
建築関係 (建築家、建築士、大工等)	1.6%
その他職業 (弁護士、税理士、通訳)	0.4%
その他 (ない、考えていない、人のために、お金持ち等)	20.9%

※ 分類は事務局による。詳細は別紙

【考察】

- 小学生段階では、まだ、将来のことをしっかりと考えることは難しい面があり、やりたいことや就きたい仕事等は多方面にわたっている。

質問16 (中学生) あなたは、将来どのような大人になりたいと思いますか。

選 択 肢	中学2年生 回 答
① 国際社会で活躍できるような大人	8.9%
② 経済的に自立した大人	11.0%
③ 自己主張や個性を発揮できる大人	9.6%
④ 物事の善悪をきちんと判断できる大人	6.5%
⑤ 他人の立場を考えられる大人	9.1%
⑥ 地域のために役立とうとする大人	0.7%
⑦ 自らの道を切り拓ける大人	9.1%
⑧ 他人に迷惑をかけない大人	8.9%
⑨ 礼儀や作法がしっかりしている大人	11.9%
⑩ 社会に役立とうとする大人	4.2%
⑪ 健康で思いやりのある大人	16.3%
⑫ その他	4.0%

・幸せに過ごせる大人 ・自由 ・子供の気持ちが分かる大人

【考察】

- この選択肢の中で、⑪が一番高い数値になっていて、①、⑦、⑩が約1割にも満たない数値は意外である。これらが自己肯定感の低さにつながっているとすれば、未来の希望を抱けるような取組の充実を図っていく必要がある。